

印西地区環境整備事業組合地域振興施設建設プロジェクト設計・施工業務公募型プロポーザル
優先交渉権者の選定結果

1. 優先交渉権者の選定プロセス

(1) 印西地区環境整備事業組合地域振興施設建設プロジェクト設計施工業務公募型プロポーザル優先交渉権者選定委員会を設置（令和8年4月14日）

①所掌事務

- i. 公募型プロポーザルの実施要領の決定
- ii. 公募型プロポーザルの審査基準及び採点基準の決定
- iii. 技術提案資料等の評価及び優先交渉権者の選定
- iv. その他必要と認められる事項

②選定委員（合計7名）

- 選定委員長：大野徳強（印西地区環境整備事業組合 事務局長）
- 選定委員：宮本純一（印西地区環境整備事業組合 印西クリーンセンター 工場長）
- 選定委員：久古耕平（印西地区環境整備事業組合 庶務課 課長）
- 選定委員：土井秀之（印西地区環境整備事業組合 平岡自然公園事業推進課 主幹）
- 選定委員：大野喜弘（印西地区環境整備事業組合 庶務課 庶務管理班 主幹）
- 選定委員：黒田豊和（印西地区環境整備事業組合 庶務課 財政班 主幹）
- 選定委員：近藤伸芳（印西地区環境整備事業組合 印西クリーンセンター 次期施設推進室 室長）

(2) 公告日（令和8年5月1日）

(3) 参加表明書等の提出（令和8年5月1日～令和8年6月5日）

(4) 現場説明会（令和8年5月11日～令和8年5月22日）

(5) 質問及び回答（令和8年5月1日～令和8年6月19日）

(6) 技術提案資料等の提出（令和8年7月13日～令和8年7月17日）

(7) 第1次審査（令和8年7月27日）※書類審査

(8) 学識経験者等からの意見聴取（令和8年7月28日～令和8年7月29日）

①次の学識経験者（建築及び設備等）から、技術提案資料等に対する意見を聴取

千葉大学大学院工学研究院創成工学専攻建築学コース 教授 林立也 氏

東京都市大学建築都市デザイン学部建築学科 准教授 須藤美音 氏

②次の実務経験者（類似施設の運営管理経験者）から、技術提案資料等に対する意見を聴取

株式会社共立ソリューションズP K P事業統括本部 G X事業部部長 尾田裕明 氏

(9) 第2次審査（令和8年7月30日）※プレゼンテーション及びヒアリング

2. 優先交渉権者の選定結果

評価点合計第1位の青グループを優先交渉権者として選定

No.	審査項目	審査視点	配点	審査結果	
				赤グループ の評価点	青グループ の評価点
1	価格提案見積書（税込み） 赤グループ：2,150,000,000円 青グループ：2,149,950,000円	配点×（全参加者中最低見積価格÷当該参加者の見積価格）で求められた点数 （小数点以下第2位を四捨五入）	35（5点×7名）	35.0	35.0
2	見積内訳書	①詳細に見積内訳を記載しているか。	14（2点×7名）	6.8	10.8
3	会社概要	①本プロジェクトの遂行にあたり、適当な会社規模及び経営基盤を有しているか。	14（2点×7名）	8.4	12.0
4	業務実績及び実務経験	①業務実績と本プロジェクトとの類似性 ②業務実績及び実務経験のレベル	14（2点×7名）	8.4	11.6
5	プロジェクト工程表	①工程項目の妥当性 ②実現性	14（2点×7名）	8.0	8.4
6	プロジェクト実施計画	①本プロジェクトの実施方針が、本プロジェクトで重視する事項（実施要領第1章3（9））を踏まえた提案内容となっているか。	35（5点×7名）	18.0	24.0
		②安定的に本プロジェクトの遂行が可能な体制か。 ③組合との円滑な対応が可能な体制か。 ④リスク回避の工夫があるか。	35（5点×7名）	20.0	25.0
7	地域振興施設の計画概要	①全体コンセプトが、持続可能な提案内容となっているか。 ②地域振興施設として、集客力及び収益力に優れるコンテンツを選定し、最適な諸室面積、品質、快適性及び安全性を確保した提案内容となっているか。 ③上質な滞在に寄与する什器備品を選定し、最適な数量、品質、快適性及び安全性を確保した提案内容となっているか。 ④同一商圏内における類似施設との差別化を図る提案内容となっているか。	175（25点×7名）	70.0	130.0
		⑤運営管理しやすい各コンテンツの配置レイアウト及び各種動線等を確保した提案内容となっているか。 ⑥清潔の保持及び清掃のしやすさを踏まえた提案内容となっているか。	70（10点×7名）	42.0	52.0
		⑦将来、追加コンテンツを段階的に整備することを踏まえた提案内容となっているか。 （将来のニーズ変化等に柔軟に対応することができるよう、間取りの変更や他用途への転用などを考慮した工夫）	21（3点×7名）	14.4	14.4
		⑧ユニバーサルデザインを踏まえた提案内容となっているか。	21（3点×7名）	12.6	13.2
		⑨省エネな提案内容となっているか。	21（3点×7名）	12.0	13.2
		⑩屋内余暇棟の外観が周辺環境と調和する提案内容となっているか。	7（1点×7名）	4.2	4.6
8	地域振興施設の設備概要	①利用者及び就労者の安全性（特にレジオネラ菌対策と食中毒対策）と快適性（特に空調換気）を踏まえた提案内容となっているか。	56（8点×7名）	35.2	35.2
		②機器更新を含め、維持管理しやすい提案内容（特に濾過循環システム）となっているか。	42（6点×7名）	27.6	28.8
		③ランニングコストの削減を踏まえた提案内容となっているか。	42（6点×7名）	22.8	27.6
9	計画変更に関する対応方針	①柔軟な対応が期待できる提案内容となっているか。	21（3点×7名）	13.2	15.0
10	地域力の活用方針	①地域経済への貢献が図られる提案内容となっているか。	14（2点×7名）	7.6	10.8
11	その他 （独自性や優位性等に関するアピール）	①見込まれる効果など	35（5点×7名）	19.0	23.0
12	プレゼンテーション及びヒアリング	①本プロジェクトに対する熱意 ②資料説明の分かりやすさ ③質疑に対する的確な回答	14（2点×7名）	8.0	10.4
合計			700（100点×7名）	393.2	505.0
				第2位	第1位

3. 選定委員長の総括

本公募型プロポーザルは、2 グループの参加をいただきました。技術提案資料等の審査にあたっては、参加グループ名を秘匿した上で、実施要領で規定する第1次審査及び第2次審査を進め、選定委員全員の評価点を合計した総和点数により、青グループを優先交渉権者として選定するに至りました。

優先交渉権者として選定した青グループの提案内容については、審査項目全般に亘り高い評価となりましたが、特に審査項目No.7の地域振興施設の計画概要が秀逸であるとの評価結果となりました。

赤グループの提案内容については、要求水準書で示す設備や機能の段階的整備が大きな特徴でしたが、そのために一部の要求水準を当初整備の段階で満たすことができないことから、青グループの評価には及びませんでした。

最後に、本公募型プロポーザルの執行にあたり、技術提案資料等の作成及びプレゼンテーション等において、貴重な時間と努力を費やされたことに対して、両グループに深く感謝申し上げます。

4. 優先交渉権者として選定した青グループの企業名等の公表

- ①参加グループ名称
- ナリコー・アクアジャパン東京グループ
- ②グループ構成員
- 株式会社ナリコー 千葉県成田市三里塚光ケ丘1番地1331（建設業務を担当）
- 株式会社アクアジャパン東京 東京都千代田区神田多町二丁目8番地10（設計業務及び工事監理業務を担当）

5. 今後の概略事業スケジュール（予定）

- 令和8年度 基本設計・実施設計
- 令和9年度 施設建設
- 令和10年4月中旬 プレオープン
- 令和10年5月上旬 グランドオープン